



賢い 選択
COOLなチョイスを未来のために! HOTなニュースをお届けします。

ホットニュースくまもと

January
2023

#11



熊本市では大型蓄電池の活用を進めています! ——電力需給調整力と防災・減災力の強化を目指す——

熊本市では「熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画」の重点取組の一つとして、市有施設への大型蓄電池の導入を進めています。

本市の施設の一部では、現在、東西環境工場でごみを焼却した際に発電した電力を使用していますが、大型蓄電池を活用して夜間に蓄電し昼間に放電することで、ごみ発電という発電時にCO₂を排出しないエネルギーの利用向上(CO₂削減)を図ることができます。また昼間に蓄電池から放電した電力によって

ピーク電力をカットすること(電力の需給調整)ができるようになります。電力料金の削減も可能となります。さらに蓄電池に蓄えた電力は、災害時等に電源が途絶えた場合でも非常電源として活用することができ、防災・減災力の強化にもつながります。

これまで本市では令和元年度に南区役所と上下水道局、令和3年度にアクアドームと必由館高等学校に整備しました。今後も防災拠点となる区役所等で、大型蓄電池の導入を進めています。

大型蓄電池の活用方法



令和3年度にアクアドームに整備された大型蓄電池

熊本市地球温暖化防止活動推進センターより

新しい国民運動始まる! 脱炭素につながる 新しい豊かな暮らしを創る国民運動 脱炭素de豊かな暮らし運動

2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を強力に後押しするため、新しい国民運動を開始します!

脱炭素につながる将来の豊かな暮らしの全体像・絵姿をご紹介するとともに、国・自治体・企業・団体等と共に、国民・消費者の新しい暮らしを後押しします。今から約10年後、生活がより豊かに、より自分らしく快適・健康で、そして2030年温室効果ガス削減目標も同時に達成する、新しい暮らしを提案をします。

詳細は環境省の
ポータルサイトを
CHECK!



環境省 地球環境局 脱炭素ライフスタイル推進室 令和4年10月資料より抜粋

熊本市地球温暖化防止活動推進員より

食品保存で 食べ残しがゼロを目指そう!

食品の値段が最近上がっています。せっかく買った食品が無駄にならないよう、保存方法を工夫してみませんか?

日本の家庭ごみの内訳で多いのは生野菜。なんと半分近くを占めるといわれており、これらの焼却には多くの税金が使われることになります。ごみを減らすことは、家計のみならず税金の節約にもなるのです。俄然やる気スイッチが入りますよね。



食べ残しがゼロ 3 step

① 買い物 献立を立て必要なものだけ購入 安価でも不要なものは買すぎ注意!

② 長持ち保存 & 時短にもなる!

芯のある野菜 キャベツなど
芯に切れ込みを入れ
野菜の成長を抑える。



カボチャや ピーマン
種とワタを取り除き
ラップして
保存袋で冷蔵



キノコ類
しいたけは軸を切って、
しめじやえのきは小房にはぐして冷凍。



POINT1
凍ったまま水から煮るとダシが出やすい!

POINT2
冷凍することでアミノ酸が約3倍に!

**保存した食品は分かりやすく
整理し、新鮮なうちに早めに
使い切りましょう!**

タマネギ ショウガ
切って冷凍。
甘みが出て
火の通りが早くなる



シジミ
3%の塩水で砂抜きしよく洗い、
水切りして冷凍。

POINT1
凍ったまま鍋に入れ調理する。

POINT2
オルニチンが約8倍にアップ↑

③ ゴミを減らす 果物の皮など →日光で乾燥させてゴミ出し
野菜の皮など →スープに利用(ベジプロス)

熊本連携中枢都市圏で
一緒に温暖化対策に取り組もう!

発行者
お問合せ先

熊本市環境局 環境推進部 環境政策課 温暖化・エネルギー対策室 TEL 096-328-2355 FAX 096-359-9945
熊本市地球温暖化防止活動推進センター TEL 096-329-0323 FAX 096-329-2919